

スポーツとまちづくりによる地域活性化の新たな挑戦

—Jリーグと包括連携協定を締結—

令和7年9月10日(水)、独立行政法人都市再生機構(以下「UR 都市機構」)と公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(以下「J リーグ」)は、地域の持続的な発展と住民の豊かなくらしの実現を目指し、地域活性化に関する包括連携協定を締結しましたのでお知らせいたします。

本協定は、UR 都市機構と J リーグが互いの資源を最大限に活用し、地域社会における課題解決と価値創出に向けて連携・協力を進めることを目的とするものであり、スポーツを通じて地域の魅力を高め、住民同士のつながりや地域への愛着や誇りを育む仕組みを共に具現化する、新しい共創モデルの第一歩となります。



J リーグの野々村チェアマン（左）と UR 都市機構の石田理事長

1. 締結内容

UR 都市機構と J リーグは、以下の事項について連携・協力することを確認しました。

1. コミュニティ形成やインクルーシブな社会の実現に関する事項

(例: UR 団地や都市再生エリア等において、地域住民や多世代、多国籍等の交流を促進する地域イベントの開催等)

2. スポーツ振興や健康促進に関する事項

(例: UR 団地や都市再生エリア等において、子ども向けサッカースクール、高齢者向けウォーキング等のイベントの開催等)

3. スポーツを活用したまちづくりの推進に関する事項

(例: スタジアムや練習場を核とした地域拠点の整備検討、周辺エリアでのエリアマネジメントの推進等)

4. 被災地域における復興支援に関する事項

(例: J クラブと連携した復興イベントの実施等)

5. 日本企業の海外展開支援に関する事項

(例:UR と連携した J クラブや J クラブスポンサー等の海外展開支援等)

6. その他、地域社会における課題解決と価値創出に関する連携事項

2. 連携の背景

- UR 都市機構は、戦後の住宅不足解消から始まり、1955 年から時代ごとの社会課題に対応し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通じて、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。また、「ゆるやかに、くらしつながる。」を UR 団地の事業メッセージに掲げ、地域の人々が自然につながり、地域全体でより良い暮らしを実現する取り組みをすすめています。
- J リーグは「日本サッカーの水準向上」、「豊かなスポーツ文化の振興」、「国際社会における交流や親善への貢献」という 3 つの理念を掲げ、1993 年に開幕しました。J リーグは、日本サッカーのプロリーグの頂点であると同時に、全国 60 の地域密着型クラブのホームタウン活動を通じて、誰もが気軽にスポーツに関わり、楽しむことができる環境づくり、スポーツを通じて豊かな社会をつくる活動を行ってまいりました。
- UR 都市機構と J リーグはそれぞれ、地域の人々にとって豊かで魅力的なまちや社会を実現するために活動しています。その親和性の高さから、互いの強みを活かし、共に地域の未来を築くための共創パートナーシップとして、包括連携協定の締結に至りました。

3. 各社コメント

● UR 都市機構 理事長 石田 優

UR 都市機構は、これまでも日本赤十字社や大学など多様な主体と連携し、福祉・子育て・防災といった社会課題にソフトの面からも積極的に取組んでまいりました。今回はその取り組みをさらに広げ、「スポーツ」という新たな切り口から連携を進めてまいります。

少子高齢化やコミュニティの希薄化といった社会課題が進行する中、スポーツには世代や立場を超えて人々をつなぎ、地域社会の絆を深め、活力を生み出す大きな力があります。J リーグの地域密着型の取組みは、UR 都市機構の理念とも重なり、これまでのホームタウン活動を通じて数多くの成果をあげてこられました。

今回の包括連携協定は、スポーツとまちづくりを融合させ、地域課題の解決に挑む共創パートナーシップの第一歩です。J リーグと力を合わせ、人と人がつながり、地域住民が元気で安心して暮らせる魅力的なまちづくりを進めてまいります。

● J リーグ チェアマン 野々村 芳和 様

UR 都市機構は、長年にわたり安心で魅力的な住宅およびまちづくりを通じて、人々の暮らしを支え、地域の価値を高めてこられました。その豊富な知見と実績は、地域に根差したスポーツ文化の醸成を志す J リーグにとっても大変心強く、新たな挑戦を共にできますことを誠に光栄に存じます。

サッカーをはじめスポーツには、世代や国籍を超えて人々を結びつけ、自然に笑顔や交流を生み出す力があります。

本協定を通じて、UR 都市機構と共にスポーツとまちづくりの融合を目指し、スタジアムや団地、公園

や広場といった生活に身近な空間に人々が集い、楽しみ、地域への誇りを育むことのできる取り組みを推進し、全国の各地域に新たな価値を共に創り出していけるよう尽力してまいります。

4. 今後の展開

本協定に基づき、UR 都市機構と J リーグは地域活性化に向けた共創活動を本格的に展開します。初年度の具体的な取り組みとして、スポーツを通じた地域参加型プログラムを全国の UR 団地や都市再生エリア、震災復興エリアで12回程度実施し、地域住民の交流を促進します。

また、個別の J クラブとの接点を持ち、地域課題や互いの資源を確認しながら、具体的な取り組みを順次進めていきます。これにより、地域ごとの課題に適した活動を展開し、地域の活力を引き出すことを目指します。

(本件に関するお問い合わせ)

UR都市機構

本社 ビジネスコミュニケーション部企画課 横山・小幡(電話)045-650-0578

本社 広報室広報課 古櫓山・大久保(電話)045-650-0087